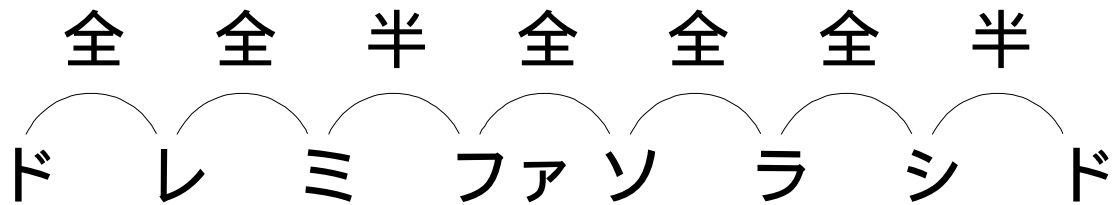


2. 音程と音階(スケール)は違う

音程...音そのものの高さ 音1個、チューニング、周波数

音階...音程どうしのへだたり 2以上の音程で初めて成立、
あなたとわたしの距離感



全と半の並び
が全て

短三度...1.5...ド ミ ...マイナー

長三度...2...ド ミ...メジャー

全三音...3...ド ファ#...#11、 5、トライトーン

a) ダイアトニック族

クラシックな感じ

教会旋法、ただのドレミファソラシド

b) メロディックマイナー族

JAZZな感じ

ドミナント7のコード(7)にオルタードドミナント7th

他の7th(7以外でも)にリディアン7th

メジャーとマイナーのきわどい狭間で揺れ動く快感

c) ペンタトニック族

ROCK、BLUESな感じ

らくちん5音階、演歌、民族音楽、ヒット率高

+ でブルーノート

d) 数学的対象形族

フリーな感じ

ディミニッシュ、ホールトーン、クロマチック

数学的にきれいな対象形、わからんようになったら

注)スケールをただ覚えてもアドリブはできない。すべての音を使う必要はない。 のフレーズとして覚える。

キーの中でコードが果たす役割と一緒に考えるくせをつける。

コードにのせるスケールを選ぶことによって意外なテンションを考えることができる。

例： mでのドリアン